

日時 : 2009年11月27日(金) PM 4:00 ~ PM 5:00
場所 : 塗料報知新聞社 会議室
出席者 : 窪井氏(久保井塗装工業所)、神田氏(日本工塗連)、平野氏(CEMA)、小林氏(オーウエル)、
小泉氏(小泉塗装工業所)、松本氏(東和酵素)、神尾氏(優工社)、島田(旭サナック)
アドバイザー:坂井氏(日本工業塗装協同組合連合会技術顧問)
事務局:有馬氏(塗料報知新聞社) 10名 敬称略

***** 議 題 *****

第一回の会合として同日開催された環境技術分科会メンバー全員が参加し活動の主旨、骨子を検討。

1. 活動内容

(1) 分科会名称

塗装工程全般の安全に関する活動より、分科会名を『安全対策分科会』とした。

(2) 活動骨子検討

塗装業において3Kと言われる作業において、安全、安心の基本となるものが望まれている。

「塗装作業の安全」を定着させるために、出版形態で塗装の安全普及を計画。

(3) これまでの経緯

昨年(平成20年)厚労省より、日本塗装機械工業会(CEMA)へ「塗装作業のリスクアセスメント」を推進したいのでとの協力要請があり、CEMAは日本工塗連に共同での対応を呼びかけ、厚労省の分科会に参加して「塗装作業のリスクアセスメントの進め方」(厚労省)の発行に協力し、更に今年度はインターネット上でも推進できるような形にするための協力をした。

本活動を通して収集した安全対策に関する資料等を有効に活用して、実際の塗装現場に役立つような情報を事業者を提供することを工業塗装高度化協議会に提案。その結果「安全対策分科会」として対応することになり、分科会を立ち上げた。

(4) ワーキンググループ(WG)メンバー

工業塗装協議会で、安全対策を取上げることにに関して、日本工塗連、CEMAからそれぞれ了承を得、両者からの窓口を選任。

・CEMA : 平野氏

・日本工塗連 : 窪井氏、神尾重光氏

神尾氏は今回が分科会の初出席でもあり、全員がバックアップしていく事にて了承を得た。

(5) 活動形態・計画(案)

・具体的な計画等は、これから進める。

・会議等は環境技術分科会2回の集まりに対し、1回の安全対策分科会の会議を開くようにして、合理化を図っていく。

・分担予定

日本工塗連 : 現場の写真、情報等の資料提供

CEMA : 機器、設備の安全対策の情報提供、全体の執筆

(6) 目標(当面の目標)

2010年に「塗装の安全対策」(仮称)の出版とする。

(7) 出版物骨子(案)

- ・小冊子の形態 : A4版簡易(白黒)印刷 150頁
- ・原稿作成 : 高度化協議会関係者のボランティアにて提供
- ・発行予定 : 平成22年10月(約1年間の予定)
- ・編集委員会 : 高度化協議会の安全対策分科会(CEMA・工塗連 各2名程度)

2. 次回予定

第2回 安全対策分科会

2010年1月28日(木) 午後11時 ~ 12時 塗料報知新聞社会議室

(11/27に骨子検討が行えなかったため、1月に実施予定とします。)

<予定議題>

- ・骨子、方向性など検討

————— 以 上 —————